

平成 23 年度における契約状況のフォローアップ

平成 24 年 8 月
独立行政法人国立病院機構

1. 平成 20 年度と平成 23 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

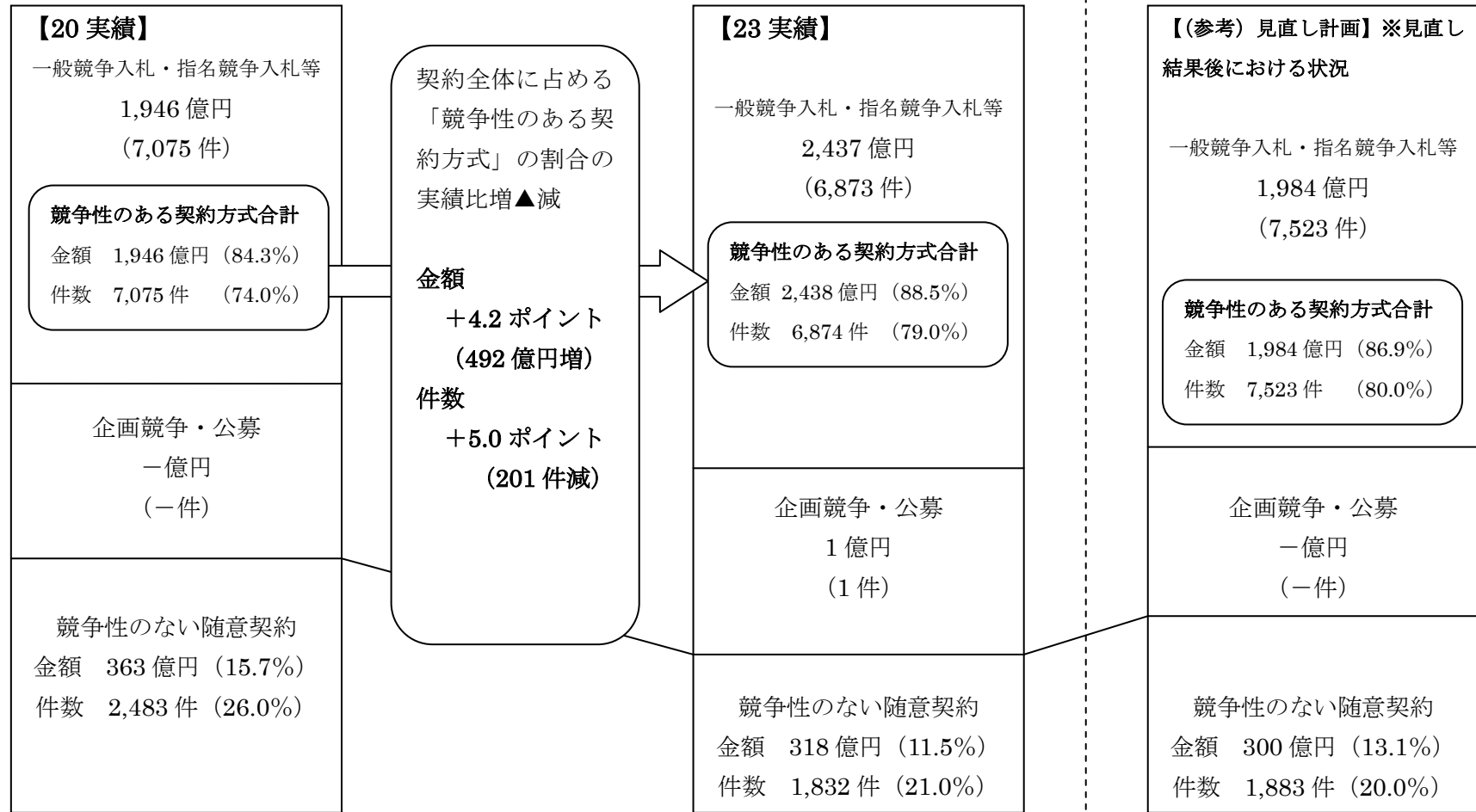
	平成 20 年度		平成 23 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(74.0%) 7,075	(84.3%) 1,946	(78.9%) 6,873	(88.4%) 2,437	(97.1%) △202	(125.2%) 491	(80.0%) 7,523	(86.9%) 1,984
企画競争・公募	(－%) －	(－%) －	(0.01%) 1	(0.05%) 1	(100.0%) 1	(100.0%) 1	(－%) －	(－%) －
競争性のある契約(小計)	(74.0%) 7,075	(84.3%) 1,946	(79.0%) 6,874	(88.5%) 2,438	(97.2%) △201	(125.3%) 492	(80.0%) 7,523	(86.9%) 1,984
競争性のない 随意契約	(26.0%) 2,483	(15.7%) 363	(21.0%) 1,832	(11.5%) 318	(73.8%) △651	(87.6%) △45	(20.0%) 1,883	(13.1%) 300
合 計	(100%) 9,558	(100%) 2,309	(100%) 8,706	(100%) 2,756	(91.1%) △852	(119.4%) 447	(100%) 9,406	(100%) 2,284

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成 23 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成20年度と平成23年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

金額割合は達成している。

件数割合は達成していないが、従来随意契約としていたものを競争契約に一本化して随意契約の抑制に努めた結果である。これは、医療機器修理において、機器購入と保守を一体とした契約方式の導入や、医療用消耗品購入において、物品の管理と購入を一体化した委託契約（SPD）の導入促進などにより、全体の契約件数が減少したことに伴って割合が増加したものであり、随意契約の件数自体は、見直し計画を下回っている。

3. 平成 23 年度において、随意契約から一般競争入札等に移行した主な契約

- ① 業務委託契約（医事業務等） 5.9 億円
- ② 長期継続契約（ガス） 0.8 億円

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 23 年度	比較増△減
2 者以上	件数	4,711 (71%)	6,099 (91%)	1,388 (129%)
	金額	1,584 (85%)	2,210 (92%)	626 (140%)
1 者以下	件数	1,938 (29%)	609 (9%)	△1,329 (31%)
	金額	280 (15%)	203 (8%)	△77 (73%)
合 計	件数	6,649 (100%)	6,708 (100%)	59 (101%)
	金額	1,864 (100%)	2,413 (100%)	549 (129%)

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 23 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL <http://www.hosp.go.jp/11,6211,48.html>)

6. 法人と一定の関係を有する法人との契約状況

平成 23 年 7 月 1 日以降に公示・公募等を行った案件のうち、当法人の関係法人等が契約の相手方となった案件はなかった。